

技術力の維持・向上 —技術支援—

【概要】

① 技術支援

会員が抱える技術的な疑問、悩みを解決するため、鉄道技術推進センターでは相談窓口を設け、技術支援活動を行っています。

(1) 文献調査等による対応

会員からの鉄道技術に関する問い合わせに対して、参考文献の送付や鉄道総研研究者の見解等を文章にまとめて、電話・FAX等により回答するサービスです。

(平成8年度から実施、平成22年度末までに738件実施)

(2) 現地調査

中小鉄軌道事業者会員からの依頼により、『鉄道総研の研究者』が現地を訪問して、技術的な調査を行うサービスです。

(平成14年度から実施、平成22年度末までに42件実施)

(3) 訪問アドバイス

中小鉄軌道事業者会員からの依頼により、『レールアドバイザー』が現地を訪問して、助言・指導を行うサービスです。

推進センターでは、深い知見と豊富な実務経験を有する鉄道技術者をレールアドバイザーとして登録しています。

(平成15年度から実施、平成22年度末までに42件実施)

② 鉄道技術教材

基礎的な鉄道技術を幅広く学べる初級者向けの教材「わかりやすい鉄道技術」土木編、電気編、車両・運転編の3編を発刊しています。また、平成20年度から、中堅技術者向けの教材「事故に学ぶ鉄道技術」の作成に着手し、平成22年度までに軌道編、信号編、電車線編を発刊しました。



わかりやすい鉄道技術



事故に学ぶ鉄道技術

③ 推進センター講演会

鉄軌道技術者の技術レベルの向上を図るため、毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市でレールアドバイザーや総研研究者による、推進センター講演会を開催しています。



推進センター講演会

④ 地方鉄道協会等における情報発信と意見交換

地方鉄道協会の技術委員会等において、推進センターの活動等についての情報発信を行うとともに、鉄軌道事業者の方々と意見交換を行っています。

【技術支援実施例】

●平成22年度の主な「文献調査等による対応」の例

- (土木) 火災時における地下駅の避難時間算定方法
- (軌道) 軌道検測データの処理・管理方法
- (電気) ちょう架線の交換時期
- (車両) 走行中の車体振動周波数特性

●平成22年度の「現地調査」

- (土木) 増水で流出した護岸壁の復旧方法
- (軌道) 曲線区間における波状摩耗発生状況の調査
- (車両) 車両の左右動揺に関する状況調査



現地調査の状況

●平成22年度の「訪問アドバイス」

- (軌道) スラブ軌道の保守方法
- (軌道) 軌道の保守および整備方法



訪問アドバイスの状況

問合せ先

(公財) 鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター

〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38 電話 NTT 042-573-7236 JR 053-7236